

環境省 税制全体のグリーン化推進検討会
(第3回)

資料3

2012年06月19日

都市分野における税制グリーン化の
あり方について

名古屋大学大学院 環境学研究所

交通・都市国際研究センター長

林 良嗣

自然の変化と社会の受容性の変化

気候変動、地殻変動

少子高齢化

自然災害リスクの増大

社会・経済の非成長

激甚化

ミスマッチ

脆弱化

近未来世代における著しい困難

レジリエントな地域社会を目指す

都市・農山漁村の

コンパクト化

インフラの

リダンダンシー確保

生活の質 (Quality of Life: QOL) を維持・向上
低炭素なライフスタイルの確立

スマートシユリンク
(かしの凝集)

少子高齢化(成長→成熟→シュリンク)

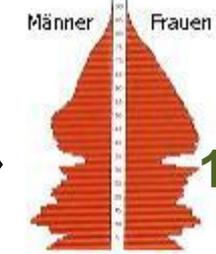
1900年



1/1.4

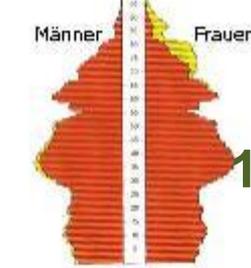
ドイツ

1950年



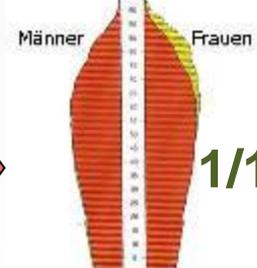
1/2.04

2000年



1/2.13

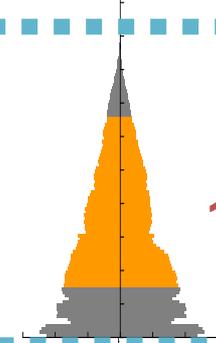
2050年



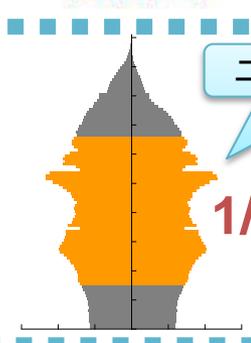
1/1.28

日本

高齢者・未成年
/生産年齢人口

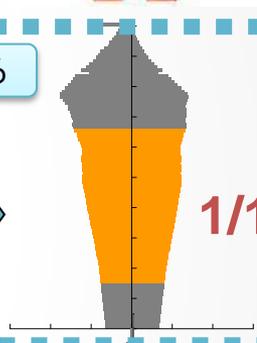


1/1.48



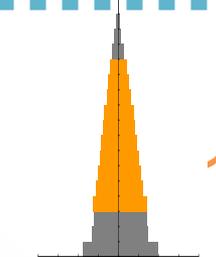
二人で一人を支える

1/2.14

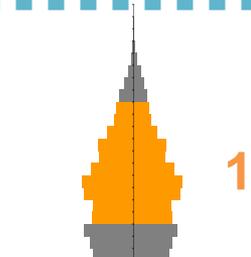


1/1.04

中国



1/1.63

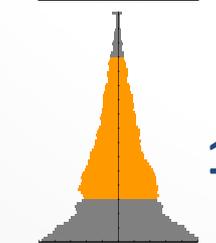


1/2.15

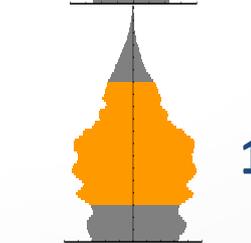


1/1.56

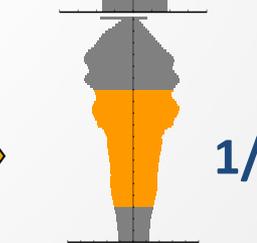
韓国



1/1.24

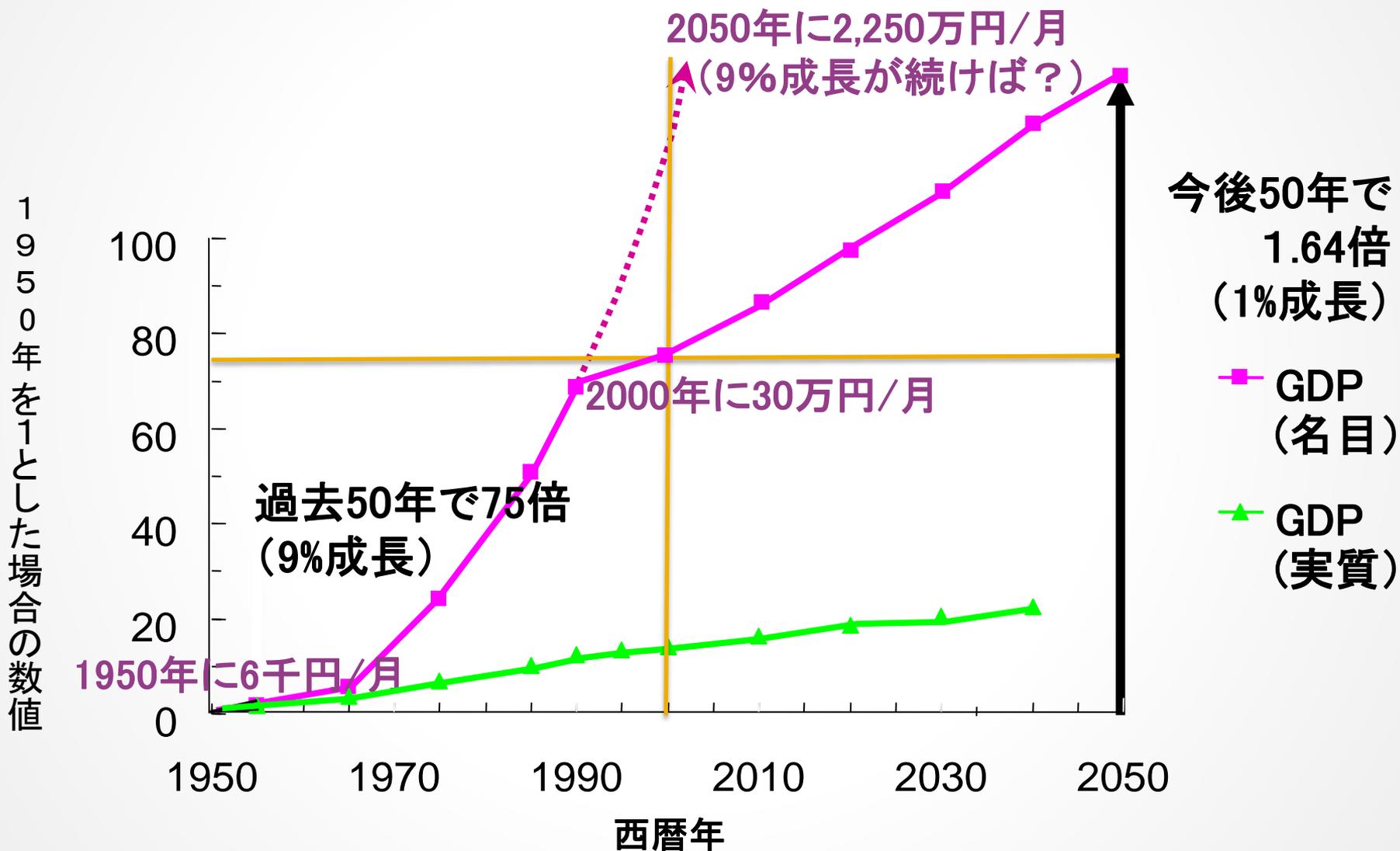


1/2.55



1/1.20

境界条件の変化(日本経済の成熟化)



立地拡散が止まらない日本の都市

都心部のマンションと駐車場



大規模駐車場のある郊外SC



シャッター街

photo by M. Fukumoto



<http://kyushu.yomiuri.co.jp/news/national/20100715-OYS1T00632.htm>

災害危険地区への宅地進出

都市：市街地のスプロールの拡大

日本(名古屋郊外)



英国(ロンドン郊外、レッチワース)



〈背景〉

高度経済成長
車依存型ライフスタイル
空間計画体系不備

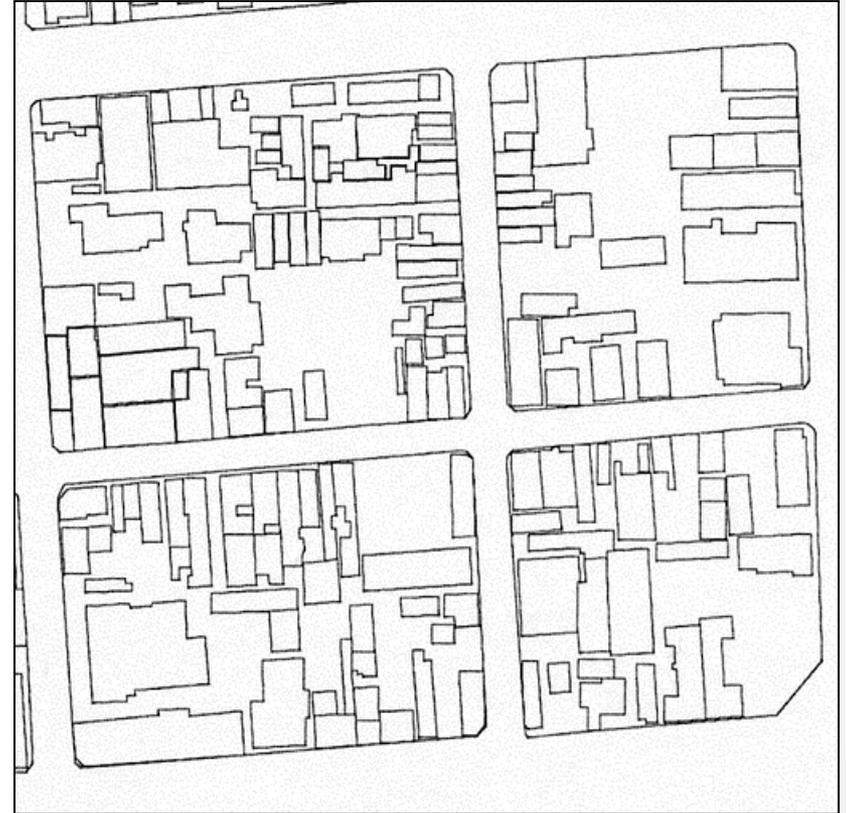
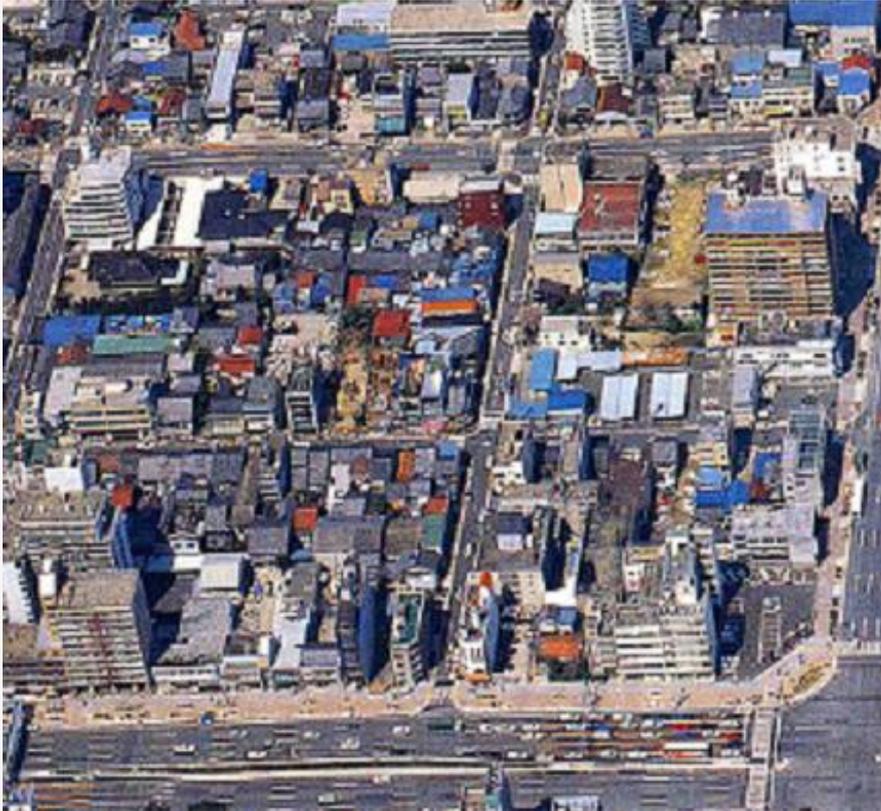
〈現象〉

スプロール
中心市街地の乱雑な
建物群
個性なき景観

〈問題〉

環境負荷増大
インフラ維持費用増大
災害脆弱性増大
QOL(生活の豊かさ)低下

放任的建築群（名古屋市・栄付近の街区）



組織的建築群(パリ・マドレーヌ寺院付近の街区)



再集結のためには、長期的に持続可能で、価値の高い空間を形成する必要がある！

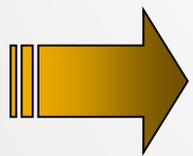
パリ（200年街区）

名古屋（30年街区）



・長期にわたり定型を保った街並み

・建替え数が多く、バラバラな街並み



低炭素かつQOLの高い地区となっているか？

リヨンの街並み2



クオリティストックの形成

－ ドイツと日本の比較 －

カールスルーエのテラスハウス (一軒当たり敷地: 50坪)















名古屋の戸建住宅 (一軒当たり敷地50坪)







テラスハウス型街区 vs 日本型街区

<テラスハウス型街区>

<日本型街区>

